



Weekly Report

小諸浅間ロータリークラブ

- ◆例会日/週火曜日 12:30~13:30 ◆例会場/小諸市鶴巻 音羽
- ◆事務局/〒384-0025 長野県小諸市相生町 1-2-12 エイワンビル 3 階
- ◆会長 / 橋詰 希望 ◆副会長 / 前田 博志
- ◆幹事 / 黒澤 明男 ◆クラブ広報・情報委員長 / 新井 粒太



2018~2019 年度
国際ロータリーのテーマ

NO. 1422 平成30年7月31日

◆点鐘	橋詰 希望 会長
◆SAA	加藤 輝男 委員長
◆ソング	手にてつないで

【会長挨拶】 橋詰 希望 会長

先週は石巻と南三陸の震災と津波のあとを訪れてきました。皆さんはまだほとんどの方が見ていないと思いますが、ユンミアさんが監督した映画「一陽來復」の出演された方たちにぜひ会いたいと思い行ってきました。詳しい話はまた別の機会にさせていただきますが語り部バスツアーに参加して、伊藤俊さんという方にいろいろお話をいただきました。復興は200億の予算が立てられたが、まだ作業は予定の1.3%しか進んでいないと言います。大型のダンプカーが走り回り、10mの土地のかさ上げと防波堤を作っていました。まだ復興は少しも進んでいないと感じました。借りたレンタカーのナビは最新でしたが、毎日道路が作られたり、変更されたりして、目的地を入力してナビに頼って走り出すと前と同じところに戻ってきたりして役に立ちませんでした。

今回一番うれしかったのは梨智ちゃんに偶然会えたことでした。お母さんのおなかの中において生まれる前の3月11日にお父さんが津波で流されて亡くなり、お父さんの顔を知らない子が3歳から、そろばん教室に通いそろばんを頑張っていて、現在小学一年生ですが5段を取ったということです。映画のポスターの顔だった子です。

日曜日にはロータリー財団地区補助金説明会に矢島栄一財団委員長と一緒に松本大学に行ってきました。補助金を使って八幡様の八朔相撲の化粧まわしを贈呈し、伝統行事の継承を手助けする活動として補助金をいただいております。財団への寄付の金額によって補助金の額が決まります。今年は800ドル、約88000円です。化粧まわしの金額は20万弱しますので約10万位の持ち出しとなります。

ロータリーの認知度を高めるために十分得られるように宣伝していきたいと思っております。

財団に寄付した金額が私たちの活動に使えるということですが会員1人の目標150ドルに対して我がクラブは69ドルで東信第一8クラブのうちで下から3番目であります。

ちなみに蓼科クラブは170ドルです。2年先のために今年は1人150ドルのご寄付をお願いいたします。来年度の補助金申請は12月に申込みします。次期前田会長にはご準備をお願いいたします。

最後に昨日は上田ロータリークラブの夜間例会に朴敏貞さんが招待され付添で参加してきました。上田クラブは過

去においても奨学生に対して非常に好意的で、一度に何人も招待することがあったようです。出田会長はじめ多くの方が歓迎してくれてニコニコボックスのメッセージに歓迎の言葉をいただきました。島田パストガバナーも歓迎してくれ、敏ちゃんも喜んでいました。

事務局の掛川さんが手術のため8月22日から2~3週間お休みになります。我がクラブ最大の危機であります。全員の総力あげて対処していきたいと思っております。例会の欠席予定につきまして、食事の無駄経費の無駄になりますので、欠席の場合は私の方に事前にお電話をいただけるようお願いいたします。

電話番号は090-1559-7358です。

今日行われる理事会の報告にも私の携帯番号を載せますのでそれを見てください。

本日の卓話は両川さんの自己小伝です。楽しみにしております。

【幹事報告】 黒澤 明男 幹事

1. 国際ロータリー日本事務局よりロータリーレート変更について

8月1日より1ドル=112円(現行110円)に変更

2. 国際ロータリー第2ゾーン「戦略計画推進セミナー2018」開催について

日時 8月27日(月)・28日(火)

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター

3. 東信第一グループ小池平一郎ガバナー補佐より会長・幹事会について

日時 8月24日(金)18:00~

場所 佐久グランドホテル

4. クラブ計画書

佐久コスモス、上田六文銭RC

5. 例会変更

千曲川RC 8月1日(水) 定刻受付なし

8月15日(水) 定刻受付なし

8月22日(水) 定刻受付あり

蓼科RC 8月8日(水) 定刻受付なし

佐久RC 8月16日(木) 定刻受付なし

6. 週報

千曲川、上田西RC

・例会終了後、理事会

・来週8月7日(火)納涼夜間例会 18時より 音羽

【本日の配布物】

クラブ計画書

◆出席報告 前田 博志 委員

会員数21名 出席義務者21名 免除者0名
本日 出席 14名
事前 MU 0名 66.67%
前々回(7/17) MU 0名 71.93%

◆ラッキー賞

NO. 3 橋詰 希望 君

◆ニコBOX 朝倉 俊次 委員

橋詰 希望様	ラッキー賞ありがとうございました。上田RCで敏ちゃんが夜間例会に呼ばれ、歓迎していただきました。
前田 博志君	掛川さんお大事に。
小池平一郎君	地区補助金セミナー、欠席で失礼しました。掛川さん、リハビリ頑張って下さい。

【本日のプログラム】 「自己小伝」 両川 博之 会員



私は今年62歳になった訳ですが約20年ずつ、3か所で生きてきました。最初の約20年は、生まれた三重県、次の約20年は東京で40歳ぐらいまでくらししました。それから小諸、佐久で約20年位になり、どうやら、ここが安住の地なりそうです。

1956年(昭和31年)6月23日三重県津市に生まれました。

津市は日本一短い地名で有名で、人口は約28万人弱くらいで、県庁所在地でもあり、気候も温暖であります。

三重県は、主に、近鉄名古屋駅より伊勢、鳥羽へ南下する、近鉄線が主要交通機関で、その中間位に位置するのが近鉄津駅です。その一駅先、伊勢方向に、津新町という駅があり、その駅には、津新町商店街がありその商店街の中にある自転車屋の、長男として生まれました。兄弟は下に妹が一人います。現在は両親も他界しまして津市には妹夫婦と姪子2人が暮らしています。

そこで、小・中・高校と約20年弱暮らしました。少年時代は特段普通の学生生活をおくりました。中学では軟式野球、高校では硬式野球をやって居ました。中学は軟式野球の強豪校で、50人以上部員がいて私の出る幕もなく、3年間試合に出られませんでした。高校では逆に弱小高校でレギュラーで出場していましたが、地区予選1回戦でコールドまけの連続で何とか9回やらせてもらえないかと思いつつ1度も勝てずに3年間で終わりました。

高校は進学半分、就職半分くらいの学校でしたが、私は経済的理由と受験勉強がいやで、どちらも選択しないで東京デザイナー学院の商業デザイン科、という専門学校に入学し、上京しました。後で聞いた話では、何年か前の先輩にテレビに出ているタレントの、高田純二がいるそうです。

そういう事で東京での20年が始まりました。とは言っても学生生活はとて、大変でした。学校は昼間で、2年制で中央線御茶ノ水にありました。親からの仕送りは最低限しかなく、当然昼間の学校の時間以外は、夜、土、日、祭日、夏、冬休み等はアルバイトの連続でした。この2年間は、あらゆる種類のアルバイトをしました。当時メインになっていた仕事が夜、新橋駅前のニュー新橋ビルの地下街にあるスナックでの調理場の仕事を週3~4日やっていました。また短期の出張仕事で地質調査でダイナマイトを仕掛ける仕事や、夏休みには軽井沢の、小瀬温泉ホテルで一夏バイトしたこともあります。等々色々なアルバイトしながら2年間すごし、どうにか卒業しました。

最初に就職したのが協和オフセット印刷と言う会社で印刷会社と言っても印刷工場ではなく、工場は静岡にあって、私は池袋にあるデザイン部門のオフィスで印刷物のデザイン、レイアウトの仕事を担当していました。そこでグラフィックデザインを実践で、学びました。クライアントは、主に西武系列の西武デパート、西友、パルコなどのカタログ、パンフレット、ポスター、チラシ等です。

そこで、4~5年働いていた頃最初のチャンスが、やってきました。デザイン関係の知人から契約社員だけれど博報堂でやってみないかとお誘いを受けまして、人に頼まれるといやと言えない私としては、二つ返事でお受けしました。電通・博報堂といえば大手代理店として有名ですが、博報堂の場合はアメリカの大手広告代理店マッキンゼーエリクソン社という会社に吸収合併され大手代理店になりました。したがって、本当の社名はマッキンゼーエリクソン博報堂といえます。博報堂は神保町の出版社が多く集まる場所にあり、なその中の小学館ビルの1フロアにクライアント別に4~5人のチームを組み作業していました。私が配属されたのは今はもうないのですが、ノースウエスト航空、のアメリカ版のカタログ、パンフレット、ポスター等のレイアウト担当でした。

さて、博報堂に2~3年お世話になっているうち、今度は、取引先のデザイン事務所、アクトジャパンと言う会社の社長から、給料今の倍出すから、営業課長兼、ディレクター待遇で来てくれないかと、お誘い受けまして、またしても、人に頼まれるといやと言えない私としては、二つ返事でお世話になることになりました。

さて、この会社には約10年位居たことになるのですが、アクトジャパンの仕事内容を説明すると、大変長くなるのですが、東京でのこの業界で仕事するのは、このアクトジャパンと言う会社が最後になります。

その頃、プライベートで付き合っていたのが、今のかみさんで両川栄子でした。当時、小諸出身とか、タクシー会社の社長の、次女と言うこと等知りませんでした。何処で知り合っとか、何で出会ったとか、そういう話は取り合えず、勘弁して頂いて、そのうち、当時彼女の住んで居た、世田谷区の京王線千歳烏山のマンションに、転がり込み一緒に住む事になりました。

ちなみに私は、中央線荻窪に住んで居ましたがそこは、引き払いました。二人で千歳烏山に暮らしている頃は、よく近くの居酒屋へ飲みに行っていました。ある日、話の中で、親が小諸でタクシー会社をやっている事、会社の跡取りが居ないと言うこと、親の栄社長に話したところ小諸に来て会社をやってくれないかと、言っている等詳しい話を聞いて、またまた、人に頼まれるといやと言えない私としては、二つ返事で(いいよ)と引き受けてしまいました。

そして、その日は確か祭日で雨が降っている日でしたが、千歳烏山に世田谷区役所の支所があり、そこに時間外の婚姻届けを受け付けるところがあり。そこへ婚姻届けを出しました。また社長の方から、後を継ぐに当立ってややこしいので婿養子の形にしてくれないかと、言うことでその様な形式で婚姻届け提出し、結婚したしだい。それから暫くしてからアクトジャパンへ退職届けを出し、退職しました。

ちなみに、当時、両川栄子女史は、何をやって居たかという、私とよく似ていて、東京モード学園の服飾デザイン科を出て、子供服のデザインをやって居ました。

さて、それですぐに小諸へ行ったわけではなく、タクシー業界の事を何も知らずに行くのは失礼と思い、東京のタクシーで少し経験を積んでから、小諸に行くことにしました。

東京のタクシーは大手 4 社というのがあり、日本で最初にタクシー会社を始めた老舗であります。大和、日本交通、帝都、国際(KM)の4社でよく頭の一文字を取って、大日本帝国と略して言われます。その中の国際(KM)タクシーに入社して、2種免許を取ったり、接客の研修受けたりしてから、1年間東京都内でタクシーでの営業をしました。

1年後小諸市に引っ越し両神団地に住むことにしました。烏山から田舎に引っ越すなら犬でも飼おうかと1軒家で庭付きの家を借りました。ラブラドルレトリバーの子犬を、当時、西武パルコにかみさんの知り合いが居る、ペットショップで、26万円と結構な値段だったので、ローンで買いました。ラブラドルレトリバーは、当時人気の犬種で16年生きました。名前は(てつ)と付けました。二人と1匹で、小諸へやってきました。1997年(平成9年)秋ごろの話です。しかしその犬は昼夜を問わず、泣き続ける犬で、最初の頃は両神団地中迷惑をかけたと思います。

そして、その年1997年(平成9年)10月に長野新幹線佐久平駅が開業、そして翌年1998年(平成10年)長野オリンピックが、開催されました。それから、佐久平駅の構内権を取るため佐久に営業所を作り、その裏に自宅をたてました。

それから、ニュー交通に入社しました。最初から専務取締役の肩書はありましたが、一年東京で経験したとは言えまだまだ素人に毛が生えたようなもので、ましては小諸佐久近辺など全く土地勘がなく、1から運転手として小諸駅の昼夜、佐久平駅、中込駅などでタクシーを運転してから、事務所にはいり運行管理を昼、夜やりました。素人同然で道は知らないし、お客を乗せるたびあぶら汗をかきながら、覚えました。特に恐怖だったのが、夜の酔っ払いのお客でけっこう、無理難題をいってくるお客はいました。

それから10年位たつと社長ご夫婦が、あまり会社の方に来なくなり引退状態になり、実質的に私が営業、経営、管理等を任されるようになり、だんだんと表舞台に出るようになり、なりました。当時バブルが弾けて以来タクシー業界も右肩下がりに景気は下がり続けました。同業他社も青色吐息の状態でした。そんな時、デマンド型公共交通の仕事を沢山受け、東御、小諸、佐久とやるうちに経営は徐々に安定してきました。

そんなとき、それまでは、子供には恵まれませんでした。52歳にして女の子がうまれました。結婚して10年が過ぎたころでした。かみさんも結構高齢者出産になる年だったので諦めていた部分があったので、本当に喜んだ記憶があります。切迫早産気味だったので、2か月位佐久病院に入院して、1度家に帰ってから産気づき、夜、又病院へ行き分娩室に入り、その日は取り合えず私は帰って、次の日の朝生まれたと電話があり、急いで佐久病院へ行きました。分娩室の中にレースのカーテンに囲われた待合室があり、そこからはカーテン越しにぼんやり周りが見えます。やがてレースのカーテン越しに赤ちゃんをタオルケットに包んで抱いている看護師さんが、こちらに近づいてきました。心臓がドキドキしていました。見て抱いた瞬間何というかわい子だと思いました。こどもなんて、可愛いと思ったこと等無かったのに、やはり自分の子だと違うのだなあとと思いました。名前は両川 翼と、つけました。今は、10歳になり小学4年生になりましたが、周りのお父さんがみんな若いので私はいま52歳だと10歳サバ読んでいます。娘も信じている様なので一安心です。

そして、本年2018年5月23日大変お世話になった、義父両川 栄社長が逝去され悲しみの中、代表取締役を就任致しました。以上が簡単ではありますが私の、現在までの、歩んできた経歴であります。

両川 博之 62歳、 妻 両川栄子 51歳、 娘 両川 翼 10歳
現在、佐久市安原在住です。

次週のプログラム： 8月 7日 「納涼家族夜間例会」 クラブ運営委員会

次々週のプログラム： 8月 14日 定款による休会